



東京多摩プロバスニュース

第 105 号



■事務局: 〒206-0002 東京都多摩市一ノ宮 1-17-18 登坂征一郎方 ■電話: 042-375-5878

■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com> ■編集・発行: 広報委員会 2023. 3. 1.

共に学びながら、高齢化社会に貢献しよう

第 223 回 定例会

日 時 : 令和5年1月11日(水)午後1時30分より

場 所 : 関戸公民館 8階 第2学習室

出席者 : 15名(会員数: 18名)

第 224 回 定例会

日 時 : 令和5年2月1日(水)午後1時30分より

場 所 : 関戸公民館 8階 第2学習室

お客様 : 大澤亘会友

出席者 : 13名(会員数: 18名)

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



仲人と結納のお話

高村弘毅会長

人間は、自分の誕生と人生の終わり、つまり終焉は不明である事が少なくない。誕生に関しては、どなたの場合でも不明の場合が多く、各自の自伝にお任せするしかないと存じます。

生物は長命、短命と様々ですが、人間は最初にして最後の別れとして、違う処で育った男女が快適にして秀麗な夫婦でさえ一度は別れる。期待してできた実の親子でも悲痛な涙の別れ、男か女かはさて置き、兄弟・姉妹の別れ、やり掛けた研究の師弟の別れ、学兄・同窓との別れ、恋する溺愛人との別れ、幼いとき育った古里との別れ、仕事仲間との別れ……人生で別れることはこんなに多かったのかと驚く。別れには重苦しいつらい別れでも、二度と経験することがないのが人生の終焉であろう。



考えてみると、別の卒業の式でもあり、次に連続する世代のスタートの儀式でもある。葬式の時、亡霊とも錯覚するような赤いドレスを着用した女性が居る場合を見かける。これが泣女である(古い中国と韓国では一升泣き、二升泣きの習慣があった)。新しい世代への期待の儀式とも受け取られることもなくはない。これらの別れは新時代への転換期とも取れる。別れの無い切れ目でもある。葬式を目出度いものではなく、哀しいものと考えたのも国にもよる。人間は距離に関係なく、時間にも関係なく、婚宴という儀式を得たことで、浅い知識のまま一生を暮らすことにもなる。

その過程で人生取り返しのできない終焉を迎える。人生の大間違いで最大の失敗を経験と知るかも知れません。人類は出来るだけ衝撃を少なくする手法で、男女の距離空間と時間区間の衝撃を少なくする意味で、婚宴の時、新郎と新婦の間に仲人という信頼できる人物を立てて、個人情報や周りの諸環境などを収取・伝授して頂き、両者に極力以降の事の安泰を宿望した役名を担う人物を置くことの習慣が自然に風土化した。従って婚宴の初期の橋渡しのため、仲人は嫁側と婿側の両方に気配りをして両者に取り持つところ多く、節度が過ぎると「仲人の言葉は信用するな」などと陰口も聞かれることも多かった。仲人の大役は、嫁と婿の情報の共有であったものと考え。

これは個人情報の漏洩などは問題なかった時の話である。今から約60年前のことではあるが、中国の西の地域で絨毯の上に座して家族と談話をしている生娘を、若い男のグループが成年男子の婿の代理で強盗並みのセレモニーで嫁を擄取した。現在も結婚式のセレモニーとして残っている国も少なくない。それで以前には嫁はラクダで運ばれ、現在の運搬手段は車になったものの、現在も嫁の親族の反対行動のセレモニーとして習慣に残っている。この時の結納として羊50頭から20頭ぐらい(時代と地域による)という。

1. 幹事報告

小島明幹事

- 1) 19 期最後に向けて、次年度役員指名委員会、又、20 周年記念実行委員会と重なるのでご協力をお願いします。
- 2) コロナ禍の中、来月よりマスク使用緩和されるようですが、高齢者団体ですから TP0 に合わせてご注意をしてください。

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

藤崎喬子委員長

- 1) 第 223 回定例会；

1 月 11 日(水) 関戸公民館 8 階第 2 学習室

- ・出席者：15 名（会員数：18 名＝会員 15＋休会員 3）
- ・誕生祝い 1 月：堀内陽二、飯作金彦、伊藤健一各会員
- ・卓話：「太陽系について」 小島明会員
詳細 3 頁参照
- ・オープンタイム：20 周年記念事業について

- 2) 第 224 回定例会；

2 月 1 日(水) 関戸公民館 8 階第 2 学習室

- ・出席者：13 名（会員数：18 名＝会員 15＋休会員 3）
- ・誕生祝い 2 月：小林務会員
- ・卓話：「ベートーヴェンの『不滅の恋人』」大澤亘会友
詳細 4 頁参照
- ・「スマホ」の使い方アレコレ 伊藤健一会員
詳細 5 頁参照

2.2. 研修・親睦委員会

片倉満委員長

春の事業計画として観桜会をこの 3 月下旬に実施する予定です。会場候補地は聖蹟記念館～都立桜ヶ丘公園～桜の丘学園前までを散策致します。昼過ぎに付近の食事処にて会食となっています。会食のみ参加やご家族連れも歓迎です。コロナ感染予防から 3 年ぶりの桜見物です。楽しく、交流親睦を深めたいと計画して参ります。

5 月には南極・北極科学館等の見学が予定されております。

2.3. 地域奉仕委員会

秋山正仁委員長

1 月 15 日付けのふくしだより(多摩市社会福祉協議会)に切手 5,780 円分、テレホンカード 1,500 円分、ハイウェイカード 10,500 円分寄付されたと掲載されました。

また、2 月 1 日の定例会の折に会員より外国の郵便切手の寄付がありましたのでボランティアセンターに届けました。

引き続き皆様より寄付をお待ちしております。

2.4. 広報委員会

伊藤健一委員長

- 1) プロバスニュース第 105 号を 3 月 1 日(水)に発行・配布。今回も無事完成、発行することができました。ご寄稿いただいた皆様に心より感謝申し上げます。
 - 2) 会員各位からの寄稿は随時募集しています。
- 私と多摩、私の故郷、趣味、旅行記、私の一品、対外活

動等テーマは自由です。

- 3) ホームページの更新公開は上記ニュース発行後に予定しています。

- 4) これまで、理事会専用にご利用してきたグループ LINE がありましたが、総務委員会で発案があり、定例会で相談、協議した結果、今後は対象をクラブ員全員に拡げて利用することになりました。

2.5. 会員委員会

飯作金彦委員長

委員会の活動計画を以下の通り見直しした。

-活動計画-

会員委員会 [委員長：飯作金彦 副委員長：秋山正仁、小林務 委員：小島明]

[基本方針]

第 17 期に新しく発足した委員会を充実させ現在の 15 名の会員を 5 名増強し 20 名の会員組織とする。

[活動計画]

1. 在籍会員 15 名（他に休会員 3 名）を今期中に 5 名の増強を目標とする。
2. 女性会員の増強を図る。
3. サークル活動を活発化し、その方面にも呼びかける。
4. 休会中の会員との連絡をとり、再出席を求める。

2.6. 事務局報告

登坂征一郎会員

- 1) 他プロバスクラブの情報の紹介

①全日本プロバス協議会；*「ひろば」第 6 号(全日本プロバス協議会役員人事、第 10 回八王子大会特集)

*会則・諸内規集、*賛助会員募集

②東京八王子 PC；*「プロバスだより」第 326 号(「日本近代化のパイオニア 伊藤博文」他)、*特集号(「第 10 回総会東京八王子大会の記録」)

③東京日野 PC；*「プロバスだより」第 144 号

④埼玉浮き城 PC；*「プロバスだより」第 138 号(オリンパスマジック見学)、*第 139 号(「源氏物語」の教育論と大和魂)

⑤旭川 PC；*「絆」第 210 号(年次総会・新人事：会長、副会長、幹事)

⑥大阪 PC；*「プロバスだより」第 375 号(大動脈狭窄症で手術)、*第 376 号(高級ワインの紹介)

- 2) 市内団体からの情報

①多摩市国際交流センター；*フレンドリーたま News1 月号(会員募集：日本語教室教師、英語、中国語勉強など)

②多摩市文化団体連合；多摩市伝統文化フェスタ：子どもたちの伝統文化の体験(津軽三味線・和紙製作・生け花など)

③多摩市社会福祉協議会；ふくしだより 2023.1 月号*ご寄付の報告(東京多摩プロバスクラブより切手等)

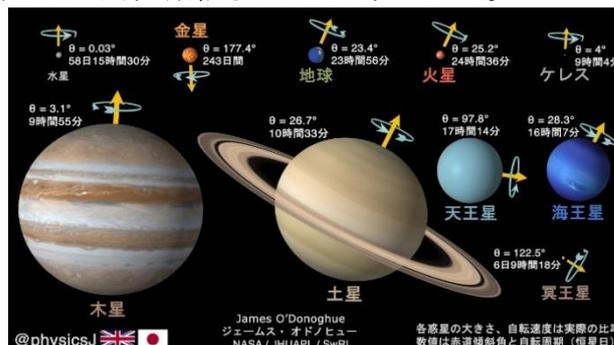
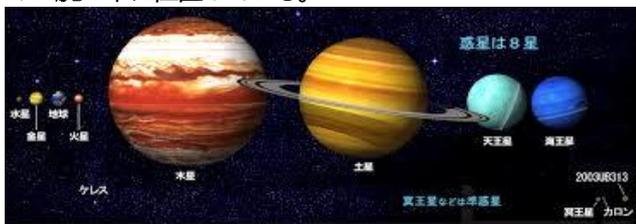
太陽系について

太陽系とは、太陽およびその重力で周囲を直接的、あるいは間接的に公転する天体から構成される惑星系である。主に現在確認されている8個の惑星(水星・金星・地球・火星・木星・土星・天王星・海王星)5個の準惑星(ケレス・冥王星・ハウメア・マケマケ・エリス)それらを公転する衛星、そして多数の太陽系小天体などからなる。間接的に太陽を公転している天体の内衛星2つは惑星では最も小さい水星よりも直径が大きい。太陽系は約46億年前、星間分子雲重力崩壊によって形成されたとされている。総重量の内、ほとんどは太陽が占めており残りの質量も大部分は木星が占めている。銀河系(天の川銀河)の中心から約26,000光年離れたオリオン腕の中に位置している。

小島明会員

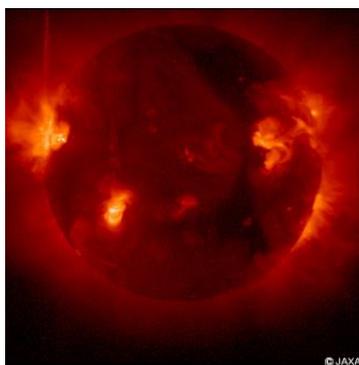


流であった。ギリシャのアリスタコスが現在の太陽系に近いモデルを推測し、ニコラス・コペルニクスが初めてそのモデルを地動説として体系化した。17世紀には、ガリレオ・ガリレイ、ヨハネス・ケプラー、アイザック・ニュートンらが物理学的観点から地動説を発展させ、惑星が地球と同じ物理法則に従っているという考えに関する多数の発見につながり、そして望遠鏡の改良や無人探査機による調査で、山やクレーターといった地質の特徴や、砂嵐、雲、氷冠などの気象の特徴も知られるようになった。



太陽は私たちの銀河系にある恒星の一つで、地球に最も近い恒星です。直径は地球の109倍、体積は130万倍近くあります。その中心部の温度は1,600万度、激しい核融合反応が起こり、膨大なエネルギーを生み出している。

内側を公転している小型な水星・金星・地球・火星は、おもに岩石からなる地球型惑星(岩石惑星)で、木星と土星は、おもに水素とヘリウムからなる木星型惑星(巨大ガス惑星)、天王星と海王星は、メタンやアンモニア、氷などの揮発性物質といった、水素やアンモニアよりも融点の高い物質からなる天王星型惑星(巨大氷惑星)である。これら8個の惑星はほぼ同一平面上にありこの平面を黄道面と呼ぶ。ほかにも、太陽系には多数の小天体を含んでいる。火星と木星の間にある小惑星帯は、地球型惑星と同様に岩石や金属などから構成されている小天体が多い。海王星の軌道の外側に広がる、おもに氷からなる太陽系外縁天体が密集している。これら2つの分類以外にも彗星・ケンタウルフ族・惑星間塵など様々な小天体が太陽系内を往来している。惑星の内6個が、準惑星では4個が自然に形成された衛星を持っており、慣用的に“月”と表現されることがある。



そのエネルギーが光と赤外線(熱)となって地球に降り注いでいるため、私たち生物は生きていけるのです。目で見ると、太陽は強烈な明るさで輝いており、燃えているように見えます。しかし、違う波長で観察すると太陽の

いろいろな顔を見ることが出来るのです。

太陽を知ることはとても重要です。なぜかという太陽以外の恒星はどれも遠く、詳しく観測できるのが太陽だけだからです。

そこで太陽の活動を専門に観測する科学衛星がたくさん打ち上げられています。『ひので』『ようこう』『ひのとり』など、日本の科学衛星も素晴らしい成果を上げています。それによって今まで知られなかった太陽の姿がすこしづつ分かっています。

歴史上の大部分に於いて、人類は太陽系に対して正しい概念を持っていなかった。遙か古代から、夜間に輝く点は観測されており、そのほとんどが配置を変えずに存在していることも星座として認識されていた。観測機器が発明されるよりも前に、肉眼で観測できる星のうちでもいくつかは移動していることは知られていたが、その動きが一様でないことから惑星と呼んだ(正しくは数十年単位で観測すると一様の軌道になるが、天体観測初期には気づかれていなかった)。中世の末期まで、ルネッサンスでは、地球を中心にしてすべての天体が公転しているという天動説の概念が主

太陽までの距離は、およそ1億4960万kmです。光の速度が毎秒30万kmですから8分19秒かかるわけです。私たちは、8分19秒前の太陽をいつも見ているわけです。光が一年間で到達する距離を1光年といいますが、一番近い星はケンタウルス座のα星で、地球からの距離4.3光年です。そうです4年少しかかるわけです。

ベートーヴェンの「不滅の恋人 (Unsterbliche Geliebte)」
大澤亘会友

1. 1827年3月26日ベートーヴェンが亡くなった時、その机の秘密の引き出しの中から彼の書いた3通の恋文が発見されました。(訳文は配布資料の通り)。宛先不明、発信人はL.だけ。発信日は月日と曜日だけ。なぜ手紙が本人の手元にあったのかなど謎の多いえ熱烈な内容だったため、世界中の研究者がその恋人探しに熱中しました。その結果、この手紙は1812年7月6日と7日にチェコの温泉保養地テプリッツにいたベートーヴェンから、別の温泉保養地カールスバートにいた女性に宛てたものであることが明らかになり、その女性についてもオーストリアの貴族で外交官・美術品収集家のビルケンシュトック伯爵の長女アントーニエか、ハンガリーの貴族ブルンスヴィック伯爵の次女ヨゼフィーネのいずれかというところまで絞られてきました。この恋文の1通目の冒頭は次の通りです。



「あなたが完全に私のものではなく、私も完全にあなたのものではないということあなたは変えられますか。(中略)私はあなたを必要とし、あなたは私を必要とします。(中略)もし私達が完全に結ばれていたのならあなたも私もこの苦しみを本当に少ししか味わわないですむのに」(メイナード・ソロモン著「ベートーヴェン上」 徳丸吉彦・勝村仁子訳)。

アントーニエ説を採る日本の青木やよひさんは、その日その場所に彼女がいたことが資料で証明できると主張し、ヨゼフィーネ説を主張する研究者は、この恋文とベートーヴェンハウスが公表したベートーヴェンからヨゼフィーネ宛の13通の手紙との言葉使いや言い回しが類似していることなどを理由としています。

2. アントーニエは1798年(17歳)の時、フランクフルトの裕福な商人フランツ・ブレンターノと結婚し6人の子供に恵まれましたが、ベートーヴェンとの出会いは夫フランツの妹ベッティーナを通じて1810年頃から始まりました。アントーニエが1809年父親の看病のためウィーンに帰っていた時、ベートーヴェンがほとんど毎日のようにビルケンシュトック邸を訪問して、アントーニエのためにお見舞いのピアノを弾き、また無言で帰って行きました。父の死後もアントーニエは遺品の整理等のため、またフランツもウィーンに仕事の拠点を設け3年間はウィーンに留まりましたが、1812年秋には夫妻ともフランクフルトに戻りました。しかし夫妻とベートーヴェンとの交流はその後長く続き、特に晩年のミサ・ソレムニスや第9交響曲の楽譜出版の際には、フランツが出版社との交渉や印税の立替払いなどを行い経済面でもベートーヴェンを支援しました。フランツは1844年に79歳で死去、アントーニエは1869年に89歳の長寿を全うしました。

3. ヨゼフィーネはハンガリーの貴族ブルンスヴィック伯爵の次女で、1799年に姉のテレゼと共に母に連れられてウィーンのベートーヴェンを訪ねてピアノのレッスンを受けたのが、ベートーヴェンとの初めての出会いでした。その後レッスンを重ねるうちに二人の間に恋愛感情が生まれ、その状況は上記13通の恋文でも明らかですが、貴族同志の結婚にこだわる母親と41歳になるダイム伯爵の説得により彼と結婚しました。結婚後もピアノのレッスンは続きましたが、親族からの批判もあり1807年秋には自ら身を引くようになりました。

ダイム伯爵との間では4人の子供が生まれましたが、同伯爵は1804年に肺炎で死亡し、1810年にエストニア出身の教育の専門家シュタツケルベルク男爵と再婚しました。同男爵との間では3人の子供が生まれましたが夫婦間で争いが絶えず、夫は1812年の5月終わりころには家を離れ同年年末までは不在となりました。このため、翌年4月8日に生まれたミノナは同男爵ではなくベートーヴェンの子供ではないかとする説があります。Minonaの名前を逆に読むとAnonym(匿名)となるからというわけです。私も以前、東京国立博物館で「鳥獣戯画」の展示を見たとき「作者不詳」の語に当たる英語が<Anonym>と表示されていたのを見ました。名付け親は何らかの事情を知っていたのかも知れません。

また、ベートーヴェンが彼女に宛てた13通の手紙のうち主な手紙は配布資料の通りですが、一番長文の4通目(1805年始めまたは春)の一部分を見ると次の通りで、二人は1804年から1807年の間熱烈な恋愛関係にあったことが分ります。

「長い—長い—長い持続が—私達の愛にはあるでしょう—それは極めて高貴な愛—お互いの尊敬と友情の上にしっかり築かれたもの—多くのことで—考え方、感じ方さえお互いに似ているのではないですか—おお、あなたの心臓が—わたしのために長く打つことを期待させてください。わたしの心臓が—あなたのために—打つことをやめるのは—死で打たなくなる時です。—愛するJ, ご機嫌よう」(小松雄一郎編訳 新編ベートーヴェンの手紙(上) 岩波文庫)

その後シュタツケルベルクは3人の子供を連れて1813年にエストニアに移住し、同行を拒んでウィーンに留まった彼女は1821年3月、42歳で波乱の人生を終えました。



数々の参考図書

スマホの使い方アレコレ (1)

伊藤健一会員

スマホは、2007年にAppleのiPhone、2008年にアンドロイド端末ができて以来世界的に広く普及しました。



以前は通話、通信料金等、月額料金が非常に高く問題になったこともありましたが、最近では、政策や企業努力などで携帯電話料金の値下げが行われ、料金の安いスマホのサービスが出てきて利用しやすくなっています。

スマホは携帯用パソコンとも言えます。いつでも手軽に持ち歩けるので便利な上に、パソコンにない使い勝手の良い機能もたくさんあります。

-便利なアプリたち-

スマホはアプリと言っているいろんなことができる道具がたくさん揃っています。電話はもとより、メール、ツイッター、フェイスブックなどのSNS、ネット検索など様々のインターネット機能全般が使えます。

アプリの数は現在数百万あると言われていています。Googleマップで道案内、カレンダーでスケジュール、時計・目覚まし、カメラで写真・ビデオ撮影、アルバム作成。電卓。各種買物カード、交通系カードとして、万歩計。読書、読書では文字が大きくできるので読みやすいです。音楽、映画等の視聴に。LINEなどでチャット、通話、ビデオ通話もよく使われて便利です。海外へ行った時など、日本との連絡が容易にできたり、無料のWi-Fi環境があれば通信料もかかりません。世界も近くなったものと思います。私は、最近、PROBUS Global(世界のプロバス交流サイト)の会員となりましたが、時々英文のメールでやりとりしたり、ニューズレター等に掲載する為の依頼原稿を作成することがあり、Google翻訳アプリを利用します。日本語の文章を一瞬で英語に変えて原稿を作成できたり、英語の文章を翻訳してくれるので重宝しています。

-スマホの音声入力が便利!-

音声入力がいへん便利です。メールやチャットの文章を素早く作成できます、音声入力でスマホに今日の予定等をたずねてみたり、ネット検索等。私も近頃は音声入力を活用するようにしています。ぜひ試してみてください。

-調子がおかしいな?と思ったら-

それから、スマホの取り扱いで大事なことです。スマホもパソコンと同様、使い続けているうちにフリーズしたり、調子がおかしくなることがあります。ですので、どこか調子がおかしいなと思ったら、一度再起動を試みてください。正常な動作に戻ることがよくあります。再起動は、電源を切って再度電源を入れ直すだけです。1週間に一度くらいの頻度で再起動するようにしたらよいと思います。

私は昨年8月より2ヶ月に一度開催されている関戸公民館主催のスマホサロンで相談担当をさせていただいています。スマホで相談事が有りましたら一度覗いてみて下さい。

俳句会の活動

登坂征一郎会員

ここコロナ禍での俳句会は、対面句会、紙上句会を状況に応じながら、毎月欠かさず実施して参りました。その背景には、毎月発行される俳句結社の俳句誌『からまつ』に俳句会のメンバーが、積極的に投句しておりますが、その原動力は会員の俳句に対する情熱と向上心ではないかと思えます。

また、今期になって俳句をやってみたいと、渡辺ますみさん、片倉満(俳号;柳人)さんの2名が俳句会に参加されました。

今回、俳句会の皆さんが、7月から12月に『からまつ』に投句されて評価をいただいた作品、並びに、俳句会で評価をいただいた作品を紹介したいと思います

1. 『からまつ』誌上にて

黄金週間友の如くに医療機器

北村岳人

作者は、ゴールデンウィーク中は、入院生活で医療機器に世話になり療養に勤めていた。中七に作者の思いが滲み出ている。もうすでに退院したとのことで、俳句を楽しんでいることでしょう。

(梅津幸雄先生鑑賞)

鋤う迎えは蝦蟇と軒燕

蓮池秋霜

農作業を終えて鋤を洗う。その秋霜さんを迎えるのは蝦蟇と軒つばめであるという。卒寿の秋霜さんには、多くの生き物が話し相手となる。花も虫も小鳥たちも小動物さえも話し相手である。自然の中へ溶け合う農夫の喜びをつたえている。

(小林港子先生鑑賞)

ゲルニカの惨禍再び聖五月

増山胡桃子

「ゲルニカ」は、スペインの画家ピカソが、ドイツ空軍による無差別攻撃を受けた1937年に描いた絵画。反戦や抵抗のシンボルとなった。ロシアによるウクライナ侵襲が始まって四カ月、侵略側の勝手な理由で町を破壊することは決して許される事ではない。早く世界の国々が一致して停戦を要求して欲しい。

(梅津幸雄先生鑑賞)

夏草や歳時記に無き外来種

川久保魚水

俳句は季語だと熟づく教えられる。「つわ者どもの夢のあと」とは趣の異なる現代性。次々と交配し種類を増殖させてきた人間の行為に直面した作者。その戸惑いは夏草の匂いと共に句全体を覆う。外来種と突き放した様な座五がまたよく利いていると感服。

(清水鈴樹先生鑑賞)

秋蝶の翅に静かな光りかな

関戸氷子

秋蝶の中でもヒメアカタテハが薊に留まり、秋の日をたっぷり浴びて翅を閉じたり開いたりしながら蜜を吸う姿が浮かぶ。その周りには水引草や釣船草も愛おしい。そして豊かな秋を「静かな光り」で言い切っている。

(小林港子先生鑑賞)

「落ち穂ひろい」麦秋遙かウクライナ

登坂爽風
フランソワ・ミレーの「落穂ひろい」を目の当たりにして、貧しくも逞しく生きる農婦の姿にウクライナ民の戦う声を重ねている。

(以降は次ページにつづきを記載)

◇◇◇ サークル活動 (つづき) ◇◇◇

ミレーの見抜いていた小さくも真の幸せをウクライナ
民に、早く取り戻したいと祈る爽風さんである。

(小林港子先生鑑賞)

2. 俳句会にて

断捨離や手止める母の絹の着物 渡辺ますみ

自宅にいる時間が増え、断捨離を始めたものの、中々
進まない。若くして亡くなった母がよく着ていた絹の着
物に目と手が止まる。元気だったころの若い母の姿が思い
出され、どうしても断捨離できずにいる。(自句自解)

十六夜に初孫生れる嬉しさよ 片倉柳人

十六夜は、十五夜の月より若干出てくるのが遅いのです
待つ気持ちが、待望のお孫さんの生まれるのを今か今かと
待つ気持ちと相まって、作者の気持ちが最高潮になった様
子が読み取れて、俳句を始められた作者に感動。

(登坂爽風鑑賞)

以上、令和7月～12月の作品を紹介させて頂きました。
1は、『からまつ』の選者の選評を、2は『からまつ』に
は未加入ですが、俳句会の中でめきめきと力をつけて、句
会でご指導いただいている『からまつ』主宰石川春兔先生
から、評価をいただいた句を選ばせていただきました。

◇◇◇ ハッピーバースデー ◇◇◇

1. 1月誕生日を迎えられました!



左から堀内陽二、飯作金彦、伊藤健一各会員

堀内さん; 満 92 歳の誕生日を頂き嬉しくもちよっと照
れ臭いです。男性では最年長とか? 阪東大先輩
を見習いながら、後は神のみぞ知る!

飯作さん; 両膝金属が入ってもゴルフができる幸せ。82
歳。

伊藤さん; 74 歳。父の寿命 74 歳。人生 100 年あと 20 年は
健康長寿で!

2. 2月誕生日を迎えられました!



小林務会員

100 歳迄残り 18 年、健康に留意
し楽しく生きることが目標です。

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

376 号 (大阪 PC)、326 号 (東京八王子 PC)、210 号 (旭
川 PC)、144 号 (東京日野 PC) と事務局報告で記載されて
いる。小紙は今回で 105 号。“継続は力なり” ならば、呼
吸をするように自律的にこの編集制作作業を、会員全員の
参画を主体に、これからも展開してゆくものと思う。前広
の編集企画、原稿依頼、細部の編集と校正・校閲で校了し、
プリントセット、144 部の送付・配布作業。毎号、広報委
員会の編集委員の地道な作業の積み重ねで、会報作業は完
了する。

今回は「俳句会の活動」が紹介されている。プロバス
ニュース同様に、対面句会・紙上句会が“継続”されてい
る。その評価をいただいた作品が紹介されているのが目を
引く。テレビ番組の「プレバト」で夏井先生が目覚める
ような好評と添削をされるのを知ることにつけ、俳句の奥深さ
と深淵さを覚えるとともに、広く大衆に句会というシステ
ムで詩文化が浸透し楽しまれていることに、言葉の力の不
思議を改めて思う。

とりわけ評価者のコメントが、選ばれた俳句を知的に
立体的に躍動化してくれる。素敵で各先生の俳句評
価の表現力に魅せられてしまう。各先生の言葉で、その俳
句の良さ、深さが理解できてくる。

(広報委員 酒井善夫会員記)

◇◇◇ 東京多摩プロバスソング ◇◇◇

作詞 池田 寛
作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて
緑の杜に囲まれた 我が故郷の行く末と
社会奉仕に力をそそぐ
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の
教え導く糧となる
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ